デジタル・トランスフォーメーション

方針・めざす姿

当社グループは、「人と地球に求められるソリューションを創造し続けるグループ」を目指し、現在直面している課題だけでなく、将来想定される課題にも目を向け、ビジネスイノベーションを推進し、加速する事業変革の実現に取り組んでいます。

デジタル・トランスフォーメーション（以下、DX）はビジネスイノベーションを推進・加速するための手段であり、いかに事業拡大に貢献できるかが重要です。当社グループは、ITインフラやDX推進体制を整備するとともに、事業を協創できる人材の育成・組織への変革を推進し、2030年までに「人と地球の課題解決に貢献する事業」「誇りとやりがいを持って働き続けられる会社」「持続的に成長できる会社」を目指します。

DX推進への取り組み

2023年度は、2022年度に策定したDX推進ロードマップに沿って、情報セキュリティ基盤の刷新、販売系を始めとする基幹システムのオープン化着手、情報子会社（（株）東洋紡システムクリエート）の吸収合併を含むデジタル推進部門再編など、DX実現に向けた準備を完了しました。この結果、当社グループはDXの取り組みについて、経済産業省の認定基準を満たしていることが評価され、2024年2月に「DX認定事業者」の認定を取得しました。

2024年度は「シンプル・スリム化の実現による機動的な対応への変革」「共通化の実現による徹底的な効率化を追求」の視点でグループ全体に取り組みを拡大し、DX推進を加速させます。また、AIなど、事業運営におけるさらなるデジタル技術の活用領域拡大に備え、その軸となる「データ資産の蓄積・創出サイクルの構築」に重点をおいた施策を展開します。

注力テーマ 1

IT基盤の整備

当社グループは、レガシーシステム更新への投資を進めています。2023年度には新基幹オンラインシステムのパイロット導入を開始し、2026年度までにクラウドコンピューター化やセキュリティ強化を完了する予定です。

IT新基盤の導入に伴う周辺システムなどの改修を進め、部門間はもちろん、グループ内、さらには社外ともデータ活用・連携ができる安全かつ柔軟なIT基盤を構築していきます。

システム更新の完了後は、例えば事業拡大に寄与するDX案件などへの投資を拡大します。そして2030年度までに、将来いかなるパートナーとも即時性を持ってセキュアに情報共有できるIT環境を整備します。

注力テーマ 2

ガバナンス・組織強化

2023年度はIT活用からDXの時代にシフトする中、これまで整備してきたシステム構築・運用面での組織力を生かし、事業拡大に向けた事業部門・社外パートナーとの協創テーマ立案、個別最適から全体最適思考へのシフトなど、モノづくり以外の組織機能強化に取り組みました。

今後は、計画・予算管理を通じたIT投資の最適化とコスト管理を通じた継続的なIT経費の削減ができる体制を強化します。そして、真に事業拡大に貢献できる組織となるために、人材育成や従業員一人ひとりが自分のキャリアを自ら描き、目標を持って業務に取り組むなどの意識改革、組織改革に取り組んでいきます。

注力テーマ 3

事業協創の推進

事業部門、イノベーション部門においては、事業拡大に資するデジタル・ITテーマの推進、業務改革を通じたデジタル化の推進を活動方針としています。メーカーとしてのモノづくりに直結するインフラ整備と併せて、事業部門全体を俯瞰しながら、事業インパクトを軸にリソース配分の優先順位を設定しています。従来、現場の担当者が個別に行っていた議論も、事業本部トップによる定期的なミーティングで議論することで全体最適を図っています。

また、カーボンニュートラルや化学物質管理などの環境課題や人的資本への対応については企業として取り組むべきテーマであり、目標設定や体制構築など、デジタル戦略総括部が中心となって全社で取り組み、着実に推進します。